

輪島市門前町黒島 天領祭り

2011年8月18日北國新聞 朝刊 39面

輪島市無形民俗文化財の天領祭は17日、同市門前町黒島町で行われた。総輪島塗の豪華な曳山2基が雄々しく車体を揺らして古い家並みの残る通りを進み、北角海家復元の

前船で栄えた往事をしのばせた。若宮八幡神社で神事が営まれ、子どもたちの奴振り行列が「ヨイヤナー、ヨイヤナー」と掛け声を響か

北前船の栄華伝え

門前・黒島

国の重要伝統的建造物群保存地区である町の通りには、能登半島地震で全壊し、復元公開されたばかりの角海家住宅（石川県指定有形文化財）も並び、沿道のに

せ、神輿や曳山を先導。天領太鼓も鳴り響いた。金天や金沢工大の学生が曳山をかじ取りし、町の両端で勇ましく回転させると、祭りの熱気は最高潮に達した。

天領祭は黒島が1684（貞享元）年に江戸幕府の天領（直轄地）となり、若宮八幡神社に立葵の紋が

贈られたことを祝って始まった。17日は町の北側、18日は南側を曳山が練る習わしだが、18日は悪天候が予想されるため、17日で全て

の予定を終えた。

天領祭



北前船の栄華をしのばせ通りを進む曳山
—輪島市門前町黒島町

2011年8月18日北陸中日新聞 朝刊 18面

輪島の天領祭に金大生が助っ人 祭り支援PTで

輪島市門前町の黒島天領祭（市無形民俗文化財）が17日、若宮八幡神社などで、豪華な曳山などが町内を練り歩いた。

祭りは、同町黒島町が江戸時代に幕府直轄領となったことを祝って始まったとされる。新不集吉氏子孫代らが神社で祈願した後、大阪城と名古屋城をかたどった二台の曳山や、門前西小学校児童の子ども奴振り行列などが出発。北前船で栄えた伝統的な家屋が並ぶ町に勇ましい声が響いた。

金沢大地域連携推進センターの「能登の祭り支援プロジェクト」の学生ら31人が参加し、担い手不足に悩む祭りに一役買った。十八日に行われる本祭りは、雨天が予想されるため十七日の一日限りで祭りを切り上げて終えた。

（笠原昭次）

子ども奴振りで行った天領祭。輪島市門前町で